

全学年	「食」を考える		道徳・学級活動
実践の時期	平成5年1月（平成5年）	仙台市立向陽台小学校 教諭 阿部 謙	
実践のねらい	飽食の時代といわれ、給食の残菜がすごい。（大人社会も）給食週間と合わせ、世界中には、食べ物がなく飢えていく子どもがたくさんいること、残菜を金額に直すと数億円に上ることに気づかせ、自分の食生活を見直すきっかけとしたい。		
新聞活用のねらい	「給食の残菜」「ソマリアの子ども」の記事を使うことにより、具体的に現状を知ることができた。		
実践集録資料	平成4年度 県NIE研究集録、小学校部会実践事例集		

◎実践の概要

○資料の準備

- ①ほしい記事（アフリカでの貧困が分かり、写真のある記事）
河北新報広報局で、データベース利用。
- ②TVで、国分町のごみ（飲食店から出る残菜）を録画。
- ③給食の残菜についての記事（2種類）は、以前にスクラップしておいたもの。

○本時の流れ

ソマリアの子どもの記事と写真を見て、思ったことを書き、発表する。

国分町のごみのビデオを見て、思ったことを書き、発表する。

給食の残菜の記事を読み、考えたことを書き、発表する。

それらをもとに、話し合う。

壁新聞にまとめる。

ワンポイントアドバイス

ここがよかった。

- ・写真のある記事は、説得力がある
- ・ビデオも使うことにより、それぞれのメディアの特性を生かせる。

ワンポイントアドバイス

新聞社を利用しよう。

- ・NIEは、新聞社と学校が連携して活動しています。記事の収集、記者の派遣など、まずは、相談してみましょう。

①データベース利用 (河北新報社)

記事を得る (コピー、データベースより出力)

データベース検索結果の一覧表

19921012	ソマリア難民の救済活動	1992年10月12日
19921013	ソマリア難民の救済活動	1992年10月13日
19921014	ソマリア難民の救済活動	1992年10月14日
19921015	ソマリア難民の救済活動	1992年10月15日
19921016	ソマリア難民の救済活動	1992年10月16日
19921017	ソマリア難民の救済活動	1992年10月17日
19921018	ソマリア難民の救済活動	1992年10月18日
19921019	ソマリア難民の救済活動	1992年10月19日
19921020	ソマリア難民の救済活動	1992年10月20日
19921021	ソマリア難民の救済活動	1992年10月21日
19921022	ソマリア難民の救済活動	1992年10月22日
19921023	ソマリア難民の救済活動	1992年10月23日
19921024	ソマリア難民の救済活動	1992年10月24日
19921025	ソマリア難民の救済活動	1992年10月25日
19921026	ソマリア難民の救済活動	1992年10月26日
19921027	ソマリア難民の救済活動	1992年10月27日
19921028	ソマリア難民の救済活動	1992年10月28日
19921029	ソマリア難民の救済活動	1992年10月29日
19921030	ソマリア難民の救済活動	1992年10月30日
19921031	ソマリア難民の救済活動	1992年10月31日

ソマリア難民を救援

ソマリア難民の救済活動

子供供らから 聞き取り調査

ソマリア難民の救済活動

ソマリアの子供に笑顔

飢餓の悲劇減りたす

ソマリアの子供に笑顔

②自分のスクラップ

餓食ニッポン 残飯どっさり

給食の残り年868トン 子供ら抵抗感なし

凶作の今こそ反省を

給食の残り年868トン 子供ら抵抗感なし

凶作の今こそ反省を

無慮やロス日常化

2割強がごみ箱行き

食の残飯をどうするか

農薬 考えよう

2割強がごみ箱行き

③子どもの感想・意見

心のノート

① ソマリアの子供達を見て感じたこと

私は今母ソマリアの子供達たちの新聞のききと見く思いました。

(食料を何もしない所が、人は生きていけるな)と抱きました。

そして私と日本人は食糧援助のすらいおんに来たはとこもいたくたるとは思いました。

② 日本人の食へ方を改めて感じたこと

日本人は食へ方へは、お肉をいかに食へます。お肉は、お肉をいかに食へます。

③ 私は毎日の給食を、お肉をいかに食へます。お肉は、お肉をいかに食へます。

④ これからは食へ物を大切にしていきたいと思います。

食へ物は、お肉をいかに食へます。